

専門科目 (2日目午前)

1.8 大修

建築学 (建築デザインコース)

時間 午前9時30分～11時30分

注意事項

1. 問題用紙は、全部で1枚である。1, 2ごとに別々の用紙に解答すること。

I: 小論文

1. 日本の1950年代の建築家による小住宅と、近年の建築家による小住宅を比較したうえで、そこに見られる建築に関する理念の共通性や相違について論じ、自らの建築に関する理念を位置づけよ (600字程度)。

2. ルートヴァイツヒ・ミース・ファン・デル・ローエの“Less is more.”と、ロバート・ヴェンチューリの“Less is a bore.”の意味を簡単に説明し、比較したうえで、そこにかがえる建築観の変化について、近代建築の流れを踏まえながら、600字程度で論じなさい。

専門科目 (午後)

18 大修

建築学 (建築デザインコース)

時間 午後1時00分～5時00分

注意事項

1. 問題用紙は、全部で1枚である。
2. 配布したA2ケント紙に解答すること。
3. 受験番号を右下に記入すること。(名前は記入しない)

1：即日設計

海を望む西向きの急峻な斜面(平均勾配1/3)を活かして、100m程度の夏の家を設計せよ。建物の周囲の環境についても、適宜想定して具体的に表現せよ。

提出物についての注意

- A2ケント紙横使い
- 作品タイトル、設計主旨300字程度を図面の中に納める
- 配置図、平面図、断面図、立面図、透視図、アクソメ図、アイソメ図など自由表現
- 彩色して構わない